

教科	社会科 公民分野	学 年	3 年	時間数	4 / 週
使用教科書 副 教 材	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい社会 公民（東京書籍） A ビジュアル公民2024<栃木県版>（とうほう） B よくわかる社会の学習 公民（明治図書） C Win Pass 公民（文理） D 整理と対策 社会（明治図書） E 栃木県入試リハーサル（浜島書店） <p>④ B～Dについて、課題を中心に活用する。 ※ 随時、i P a dも活用する。</p>				
学習の目標					
<p>◆ 社会科公民の授業を通して養う力と態度 ◆</p> <p>① 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>② 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>③ 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国に対する理解を深め、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。</p>					

評価基準		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に学習に取り組む態度
我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにすることができる。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を大切にするとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する深い理解、国民主権を担う公民として、自国の平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができる。
評価の仕方	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験及び授業や作業への取り組み 授業中の小テストや課題の提出状況など 	

教科書	単元	各月における進捗予定												
		1学期				2学期				3学期				
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
第1章	1 現代社会の特色と私たち		●											
	2 私たちの生活と文化		●											
	3 現代社会の見方や考え方		●											
第2章	1 人権と日本国憲法			●										
	2 人権と共生社会			●										
	3 これからの人権保障			●										
復習・発展・演習				●										
第3章	1 現代の民主政治				●									
	2 国の政治の仕組み				●									
	3 地方自治と私たち						●							
第4章	1 消費生活と市場経済							●						
	2 生産と労働							●						
	3 市場経済の仕組みと金融								●					
	4 財政と国民の福祉								●					
	5 これからの経済と社会								●					
復習・発展・演習										●				
第5章	1 国際社会の仕組み									●				
	2 さまざまな国際問題									●				
	3 これからの地球社会と日本									●				
入試問題演習											●	●	●	●